

## 病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	経カテーテル的大動脈弁置換術における人工弁留置時の血圧回復遅延に関連する因子の検討
当院の研究責任者 (所属)	當間 裕一郎 琉球大学大学院医学研究科循環器・腎臓・神経内科学講座
他の研究機関および 各機関の研究代表者	なし
本研究の目的	琉球大学病院で経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVR）を実施した患者様を対象にしています。TAVR の手術で人工弁を留置する際のペースメーカー使用時間、血圧回復時間を計測し、その血圧回復時間と、カルテから血液検査の結果などを調査します。またその後の調査により健康状態との関連を検討します。
研究実施期間	研究機関の長の許可から 2027 年 12 月 31 日までを予定しています。
調査データ(該当期間)	2015 年 7 月～2023 年 12 月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	<p>●対象となる患者さま</p> <p>2015 年 7 月から 2023 年 12 月までに琉球大学病院で経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVR）を実施し人工弁を留置したすべての方。</p> <p>●利用する試料・情報</p> <p>①基本情報：年齢、性別、身長、体重、BMI、BSA、合併症、既往歴・生活歴、内服薬、フレイル指標、イベント（死亡、心血管死、脳卒中、心不全入院、骨折、出血イベント）、血液検査、心電図、CT 検査、心エコー検査など</p> <p>②TAVR 手術時のデータ：血圧、脈拍、心拍出量（動脈圧波形情報に基づく）、ペーシング時間、血圧回復時間</p> <p>③データ収集の時期と内容：TAVR 前後での検査結果をカルテから調査します。</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の研究期間への提供はございません。

試料・情報の二次利用	本研究で得たデータを別の研究で利用する可能性があります、その場合は、あらためて倫理審査委員会に審査申請を行います。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。また、同意の範囲外において情報の利用を行わないとします。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません 本研究は琉球大学利益相反審議部会の利益相反手続きに従い、必要事項を申告し、その審議と承認を得るものとする。
お問い合わせ先	電話：代表 098-895-3331（内線：1150） 担当者：當間 裕一郎
備考	ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書および関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください